

野外×アート×まちなか

トロールの森2022

Signs

ま
ろ
し



トロールの森実行委員会

事務局スタッフ

黒野 裕一郎 CHRONO Yuichiro
鈴木 利矢子 SUZUKI Riyako
高城 佐知子 TAKAGI Sachiko
高橋 千佳子 TAKAHASHI Chikako
富永 一美 TOMINAGA Kazumi
野田 栄一 NODA Eiichi
碓 充史 HAZAMA Atsushi
早内 佳子 HAYAUCHI Yoshiko
村松 眞千子 MURAMATSU Machiko
本永 安芸夫 MOTONAGA Akio
山崎 愛 YAMAZAKI Megumi
吉田 明子 YOSHIDA Akiko

コア・アーティスト

鈴木 秀城 SUZUKI Hideshiro
竹厚 桂子 TAKEKO Keiko
中尾 紫香 NAKAO Shikou
橋本 フサヨ HASHIMOTO Fusayo

ボランティア・スタッフ

齊藤 美沙子 SAITO Misako
三鶴 泰正 MITSURU Yasumasa
山本 正紀 YAMAMOTO Masanori

トロールの森2022作品集

発 行 トロールの森実行委員会
〒167-0041 東京都杉並区善福寺4-2-10
mail:trolls.in.the.park@gmail.com

編 集 高城 佐知子

翻 訳 Ema Oh

デザイン 高島 亮三

発 行 日 2023年3月

©Copyright 2023 Trolls in the Park Organizing Committee

TROLL ARCHIVES 2022

野外×アート×まちなか

トロールの森2022

2022.11.3_{Thu} ▶ 11.23_{Wed}

テーマ Signs きざし

都立善福寺公園(上池)

杉並区立桃井第四小学校

西荻窪～善福寺周辺店舗・ギャラリー

主催 トロールの森実行委員会

後援 東京都東部公園緑地事務所

杉並区

杉並区教育委員会

協力 都立善福寺公園

杉並区立桃四コミュニティスクール

JR西荻窪駅

Daily Table KINOKUNIYA 西荻窪駅店

遊工房アーツスペース

関東バス株式会社

杉並区立ゆうゆう善福寺館

杉並区立今川図書館

中央線あるあるプロジェクト

助成 企業メセナ協議会 助成認定活動

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】

杉並区文化芸術活動助成事業

【助成】



【協力】



きざし

待ったなしの気候危機に終わりの見えない新型感染症、争いの絶えない世界と右肩下がりのニッポン…。「出口なし」の閉塞感が蔓延しています。そんないま、アートにできることってなんでしょう。不確実な未来を照らす光を捉えること。炭鉱のカナリアのように、かすかな変化に気づくこと。一人ひとりに、社会に、「きざし」を伝えるアート作品が揃いました。

Signs

An urgent climate crisis that cannot wait, new infectious diseases with no end in sight, a world in constant conflict and Japan in steady decline... There is a pervasive sense of stagnation with no way out. What can art do at such a time? Maybe it is possible for it to capture the light which may illuminate an uncertain future and like a canary in a coal mine, signal to us unseen changes around us. Here artworks have been assembled to convey a signal, a 'sign' to society and each and every one of us.

野外×アート(都立善福寺公園)

Open Air Exhibition

野外ならではのダイナミックな作品や自然を背景にしたパフォーマンス、公園の秋の深まりとともに表情を変えるインスタレーションに注目！

Keep a look out for dynamic works of art and performances befitting the park setting, and installations that alter their expression together with the deepening autumn colors!

常設展示作品

P03	1 森藤 文華(2.5 architects) インフォメーション兼用作品	P07	9 戸室太一/オルモット:	P11	17 栗田 昇
	2 市川 寛		10 川嶋 貴介		18 永林 香穂
P04	3 竹厚 桂子	P08	11 小野 真由	P12	19 丹尾 敏
	4 武蔵野大学 水谷俊博研究室		12 てまひま不動産 もしワークショップ企画		20 中村 岳
P05	5 三石 玄	P09	13 日沼 智之	P13	21 小西 一
	6 中尾 紫香		14 中川 彩萌		22 桃井第四小学校 6年生
P06	7 座二郎	P10	15 折戸 朗子	P19	1 なつばんぱく もしワークショップ企画 まちなか関連企画
	8 柿島 静哉		16 深沢 義一		

期日限定作品

P14	A アトリエそら+ (プリュス)	P18	I 三毛猫の音読屋(洲永 敬子)
	B 荒木 ひとみ		J 山梨 由理
P15	C Ooze(ウーズ)	P19	10 川嶋 貴介 期日限定イベントあり
	D 初期型		1 なつばんぱく 期日限定パフォーマンスあり
P16	E ぜんぶくトリヲ+かぼーれかぼーれよいとな		K オンドズ【雨天のため中止】
	F 第二次 谷杉(ミミトメ)		
P17	G DuRIAN(白桃ウィンソン+Bamboo-K)		
	H 東京バンドネオン倶楽部		

野外／まちなか つなぐ企画

野外／まちなか つなぐ企画

P20	23 武蔵野美術大学 芸術文化学科 佐々木ゼミ	P21	25 ももしのおでかけトロール	P22	M 桃井第四小学校の児童たちと RITENUTObytac もしワークショップ企画
	24 KK		L 小澤 雅都		N 佐藤ひろみとPINMY倶楽部



期日限定作品 タイムテーブル

アクティビングエリア

i = インフォメーション付近

🍃 = 公園内周遊

🍳 = クヌギ広場

🎡 = 遊具広場

👤 = 内田秀五郎翁像付近

0 = 展示作品付近

3水祝

インフォメーション 11:00～16:00		アーティスト・デイ 10:00～16:00	
A	アトリエそら+ (プリュス)	展示	10:00～16:00
A	アトリエそら+ (プリュス)	ワークショップ	10:30～12:00 随時
J	山梨 由理	パフォーマンス	11:00～15:00
M	桃井第四小学校の児童たちとRITENUTObytac	パフォーマンス	12:00～12:30
A	アトリエそら+ (プリュス)	ミニトーク	13:00～13:30
L	小澤 雅都	インスタレーション	13:00～16:30
C	Ooze(ウーズ)	パフォーマンス	14:00～14:30
G	DuRIAN(白桃ウィンソン+Bamboo-K)	パフォーマンス	14:30～14:45
F	第二次 谷杉(ミミトメ)	パフォーマンス	15:00～15:30
N	佐藤ひろみとPINMY倶楽部	ウォーキング パフォーマンス	15:00頃～15:30頃

4金

L	小澤 雅都	インスタレーション	12:00～16:30
---	-------	-----------	-------------

5土

インフォメーション 12:00～15:00	
E	ぜんぶくトリヲ+かぼーれかぼーれよいとな
I	三毛猫の音読屋(洲永 敬子)

6日

インフォメーション 11:00～16:00	
A	アトリエそら+ (プリュス)
A	アトリエそら+ (プリュス)
A	アトリエそら+ (プリュス)

12土

J	山梨 由理
---	-------

13日

インフォメーション 11:00～16:00	
A	アトリエそら+ (プリュス)
A	アトリエそら+ (プリュス)
C	Ooze(ウーズ)
D	初期型
10	川嶋 貴介
A	アトリエそら+ (プリュス)

19土

J	山梨 由理
---	-------

20日

インフォメーション 11:00～16:00	
A	アトリエそら+ (プリュス)
H	東京バンドネオン倶楽部
C	Ooze(ウーズ)
H	東京バンドネオン倶楽部
E	ぜんぶくトリヲ+かぼーれかぼーれよいとな
I	三毛猫の音読屋(洲永 敬子)
B	荒木 ひとみ

23水祝

インフォメーション 11:00～16:00	
A	アトリエそら+ (プリュス)
A	アトリエそら+ (プリュス)
J	山梨 由理
H	東京バンドネオン倶楽部
D	初期型
H	東京バンドネオン倶楽部
C	Ooze(ウーズ)
F	第二次 谷杉(ミミトメ)
K	オンドズ
1	なつばんぱく

※11/23(水・祝) 東京バンドネオン倶楽部の公演場所は、カフェ・カワセミビレット(13:00～13:30)に変更

森藤 文華(2.5architects)

Fumika Morito(2.5architects)

2.5architects共同主宰。建築のみならず、アート、プロダクトデザイン、インスタレーションと活動の場を広げている。東京ビエンナーレ、かけがわ茶エンナーレ等に参加。



HOME

【インフォメーションセンター】 木材、合板、ポリカーボネート
探索するスタートにもなり、帰る場所にもなる、森の中の“HOME”。オープン時には扉を開いて面を広げ、皆の憩いの場をつくりだします。期間を通して、鮮やかな“sign”を公園に灯します。



©Fumika Morito

HOME

【Information center】 Wood, plywood, polycarbonate
“HOME in the forest” – a point of departure for exploration, or a place to return to. When the space is open, the door is widely extended to create a place for everyone to rest and relax. This work will light up the park with a vivid “sign” throughout the duration of the exhibition.

竹厚 桂子

Keiko Takeko

京都の田舎で幼少期を過ごした後、東京へ。97年渡米。00年マサチューセッツ州立大学卒業。07年武蔵野美術大学卒業(通信教育課程)。12年より作品を発表。また同年にすがぼん流マイム入門。身体表現も始める。自然の声をテーマに作品を制作している。



Praying Tree

【インスタレーション】 ミクストメディア
ここから平和を祈る。希望は必ずあることを。自由が元に戻るように。安心して朝を迎えられるように。バラバラになってしまった心が一つに戻るように。



Praying Tree

【Installation】 Mixed media
I pray for peace from here. There is always hope. May freedom return. May the peaceful morning come again. May the broken hearts return to one.

市川 寛

Hiroshi Ichikawa

ランドスケープデザイナー
人と自然、両者の関係性に気づかせてくれるランドスケープデザインを目指しながら多岐のプロジェクトに関わっています。実務以外でも、海外アーティストインレジデンス参加、デザイン雑誌連載、大学ゲスト講師など幅広く活動しています。



emerge

【ランドアート】 木材、ポリスチレンシート
来訪者が落ち葉を投函することで創り出されるパターン。開催期間を通じて成長する本作品は、善福寺公園という都市の中の自然豊かな環境から生まれ、人の手を介し、作品を生み出し、もう一度自然に還っていく。視覚だけでなく、プロセスそのものを通して自然を体感する。



emerge

【Land Art】 Wood, polystyrene sheet
Various patterns are formed as visitors deposit fallen leaves, the work steadily growing throughout the duration of the exhibition. Born from Zenpukui Park, a nature-rich oasis set within the city, passing through hands of many people, forming a work of art and then returning to nature once more, the natural world making itself felt not only visually but through the whole process itself.

武蔵野大学 水谷俊博研究室

Musashino University, Toshihiro Mizutani Lab.

THRAK

【インスタレーション】 木材
世間はめまぐるしく変化する。その変化の「きざし」は私たち一人一人の一声(音)と考えた。五角柱のフレームに回転する棒を取り付け、そこに無数の木片を吊り下げる。棒を回すことでそれらがぶつかり合い、コロコロと音が鳴る。木片一つ一つが人間一人一人のように、ひとつの声(音)から共鳴し、ひろがる様子を表現する。

THRAK

【Installation】 Timber
While exposing its structure, it stands distorted. It resembles part of a building, or seems to be trying to become something. While marking the space, decorations appear. Maybe, just maybe, it will become a kind of distant view.

建築設計を専門分野としながら、空間デザイン、木工制作、アートワークショップなどを実践する、建築家の水谷俊博が主宰する研究室。代表作に「むさし野文学館(2020年グッドデザイン賞)」、「里山フィールドミュージアムビジターセンター」(越後妻有2015)等。



三石 玄

mitsuishi haruka

2020年、東京藝術大学大学院美術研究科 修士課程修了。石灰と砂、石、顔料などを用いて、プレスコによるインスタレーションを発表。芸術はどこからきたのか、どうして私たちはものをつくるのか、考えるように制作している。



さざなみの連なる

【インスタレーション】 石灰、川砂、顔料、セメント、麻布、鉄など
子どもの頃、湯船に浸かっている時にお湯が揺れることが不思議だった。呼吸、鼓動、身体の振幅に合わせてさざなみがうまれること。ゆるゆるとひるがっていく波紋はやがてその形や意味を変えていくので、そのまんなかに生命があったことを、私は迂闊にも忘れてしまう。



Rippling waves

【installation】 Lime, sand, soil, cement, linen, iron,etc
As a child, when I laid in the bathtub I was fascinated by the movements of the warm water, ripples extending born from my breathing, heartbeat and vibrations of my body. The trailing waves of water would take on new shapes and meanings, so much so that I would forget the life at the center of them.

座二郎

Zajirogh

1974年生まれ。描く建築家。早稲田大学理工学研究科建築学専攻修士課程修了後、大手ゼネコンに勤務しながら、通勤電車のなかで漫画を描き始める。2019年善福寺にリビングに屋根のない自邸「オープンスカイハウス」を設計。2022年、建設会社を退社・独立。



浮かぶドローイング

【インスタレーション】 アクリル板
森の精霊たちの暮らしを描いた線画をレーザーカッターで切り取り浮かべます。特定の視点に立つと森の中の彼らの暮らしが木々と重なって見えてきます。徐々に世界が明るく広がっていくイメージを公園の森に重ね合わせ見えない暮らしへの想像を掻き立てる作品です。



Floating Drawing

【Installation】 Acrylic board
Line drawings of forest trolls' everyday lives are cut out with a laser cutter and set afloat in the woods. When you stand at a specific point, you can see their lives in the forest overlapping with the trees. Projecting an image of a world becoming ever brighter upon the woodland in the park, our imagination is stirred towards an unseen everyday life.

中尾 紫香

NAKAO Shikou

1977年東京都出身。植物を用いたインスタレーションを制作。作品素材は、主に展示場所周辺より採取。いけばな草月流師範。



風まかせ

【インスタレーション】 カーテン、善福寺公園の木々
「兆し」とは、「何かが始まりそう気配」を言い表しながらも、主に「人の意思が及ばないような現象」とありました。作品の見えるさまは、その時の天候や風次第。木々とカーテンに挟まれる通路は、様々な「兆し」を感じながらも続いてゆく、現実世界のように思うのです。



Leaving to the wind

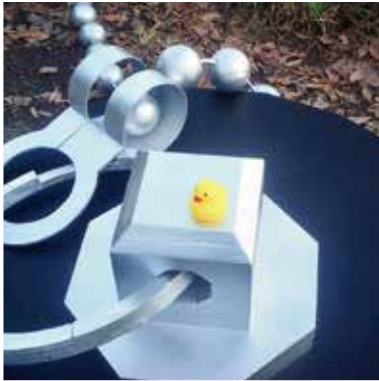
【Installation】 Curtains, trees of zempukuji park
A "sign" is 'an indication that something is about to begin', but mainly 'a phenomenon that is beyond the reach of human intention'. The way this work appears depends on the conditions of the weather and wind at any one time. The passage between the trees and curtains seems to lead on through the world of reality, whilst sensing a certain premonition.

Photo by Ikarashi Masahiro

柿島 静哉

Kakishima Shizuya

1997年 東京都杉並区生まれ
2021年 明治大学理工学部建築学科 卒業
現在、明治大学大学院 理工学研究科
建築・都市学専攻 構法計画研究室所属



池の栓

【彫刻】 木材、鉄
池の底に排水口があることを示しています。今にも水面に渦巻きを起こしながら水が吸い込まれてしまうのではないか、というソワソワした感覚。それは「きざし」です。脳内で再生されるかすかな変化。透き通っていないからこそ、自由に空想的な水中世界を想像することができます。



Pond Plug

【彫刻】 Wood, iron
At the bottom of the pond there is a drain pipe. There is a feeling of agitation as the water's surface seems to whirl as if being sucked down the hole. There is a sense of what might be. A subtle change replaying in the mind. As the water's depths are unseen, it allows us to freely imagine a fantastical underwater world.

戸室太一 / オルモット:

Taichi Tomuro / orumot:

ドンコロ・マシーン

【インスタレーション】 樹脂製エルボー、他
大きなカシの樹の下に何かあります。どんぐりを投げ入れてみましょう。どんぐりはチューブの中を転がり、どこかの口から飛び出てきます。でもどこから出てくるかはわかりません。きっと誰かともだちの手元におちてくるかもしれません。どんぐりって新しい生命の〈兆し〉。そんなどんぐりをみんなで分かち合いましょう。

DON-KORO MACHINE

【Installation】 Elbow tubes and others
There is something under the big oak tree, Let's throw an acorn into it. The acorn rolls down the tube and will pop out of some hole. We don't know where it will come out, but they will surely end up in the hands of a friend. Acorns are a sign of new life. Let's share such acorns with everyone.



1961年生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業。レンゾ・ピアノ・ビルディングワークショップ・ジャパン、アルヴァロ・シザ・アルキテット(文化庁芸術家在外研修員)、谷口建築設計研究所などを経て、2006年戸室太一建築設計室設立。2021年オルモット設立。

撮影:鈴木賢一(Kenichi Suzuki)



川嶋 貫介

Kansuke Kawashima

川嶋貫介建築設計事務所 代表

森の中の屋根

【インスタレーション】 アルミ、木、ワイヤ
人々がなにかをする「きっかけ」として、森の中に屋根を出現させます。屋根が規定するもっとも初源的な空間は、あなた、あるいは、あなたと誰かが、森の中で時を過ごすための「場」をつくり出します。

Roof in the Forest

【Installation】 Aluminum, wood, wire
A roof has been created in the forest in order to instigate an action from the people gathered there. The primordial space defined by this roof may become a "place" for you, or together with someone else, to spend time in the forest.



小野 真由

onomayu

1985年 神戸市生まれ。陶磁素材・動物性素材を使った作品制作、そこから派生した表現を行なっています。



まぼろし

【立体】 陶磁、石、セメント
公園に大きなきのこを出現させます。一瞬、まぼろしかも？と惑わすような、不思議が漂う空間にしたいです。

MABOROSHI

【Installation】 Ceramic, stone, cement
A large mushroom appears in the park. I want to create a space that is full of mystery, which may be mistaken for a moment as merely a mirage.



もしワークショップ企画

てまひま不動産

Temahima fudosan

耳で見よ 目で聴け 鼻で描け

【インスタレーション】 ベニヤ、杉角材、金物
生命にとって必要な酸素を作り出す植物の光合成、様々ないきものが一つにつながった環境の中で生きていることを忘れがちな日常。斜面に置かれたこのハコに入って、五感を使って公園を感じてください。私たちの世界はたくさんの驚きと希望に満ちていることに気づくでしょう。

See with your ears. Listen through your eyes. Trace from your nose.

【Installation】 Veneer, cedar, metal
Photosynthesis in plants produces oxygen, which is necessary for life, and the environment in which various living things are connected as one, an environment we often forget we live within as part of our everyday lives. Please enter this box placed on the slope and greet the park with all your senses, then you will realize that our world is full of hope and surprises.

内田尚宏/1961年川越生まれ。東京藝術大学建築科卒業。てまひま不動産西荻窪事務所にて中古マンションのリノベーション担当。
てまひま不動産/自然のチカラを活かし、風通しや体感温度を整えた暮らしを提供している会社です。



日沼 智之

Tomoyuki Hinuma

(株)LINENART代表。建築施工管理、アート作品設置・施工を中心に活動。高嶺格「Free House」設置(2010年 | 国際芸術センター青森)、川俣正「東京インプログレス:汐入タワー」東京アートポイント計画(2011年 | 東京都) 妻有アートトリエンナーレ2012:大地の芸術祭(2012年 | 新潟県)、他



リビング

【インスタレーション】 木、竹、金属

予想できない未来を恐れることの無いように、何かに備えることができますように。



Living

【Installation】 Wood, bamboo, metal

May we not fear an unpredictable future. May we be prepared for anything.

折戸 朗子

ORITO, Akiko

旧西ドイツ・ハンブルク生まれ。大学・大学院で物理学を専攻したのちIT企業勤務。その後油画を専攻し、2011年に東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻油画技法・材料修士課程を修了。理系モチーフより馬鹿馬鹿しいテーマを好み、制作手法が理系寄り。



樹婦人(きふじん)

【インスタレーション】 布・紐・ゴムベルト・スポンジ 他

着物を着るようになってから、寸胴体型のものを見ると帯を巻きたくなるようになりました。善福寺公園にも寸胴はいっぱい！これはもう、巻いて巻いて巻くしかない！ 今まで個性を意識しなかった木立ちが急に擬人化され、すくくと立つ木々が、おしゃべりを楽しむご婦人達のように感じられたら、私の任務は完了です。



Tree Ladies in KIMONO

【Installation】 Cloth, string, rubber belt, sponge etc

Since I started wearing KIMONO, I have been tempted to wrap an OBI around anything I see with a trunk shape. Now I realize Zenpukuji Park is full of such shapes! I have no choice but to wrap and wrap and wrap! If you begin to feel like the grove of trees are ladies enjoying a chat, I will be most satisfied.



中川 彩萌

Saiho Nakagawa

1989年 武蔵野美術大学大学院日本画コース修了。在学中に「いけばな草月流」入門。2005年 草月流作家水野理美と植物インスタレーションユニット「nekopro」を結成。個人発表のかたわら、ねこじゃらしプロジェクトを展開中。



Orb

【インスタレーション】 籐

森の中の大きささまざまな球体は、ふわりと飛び立っていったあなたをどこかへ案内してくれるかもしれない。Orbにつつまれてそこから見る風景は、いつもとちょっと違ってみえて、小さな旅が始まります。



Orb

【Installation】 Rattan

In the woods, orb of various sizes float in the air. They are ready to fly away and guide you somewhere. From the inside of an orb, you will find another landscape which is different from what you know and gradually takes shape. You might think it is still tiny, but you will see—it is the sign to begin your new journey.

PHOTO: NAKANO YOSHIKI

深沢 義一

YOSHIKAZU FUKAZAWA

1955 東京生まれ
霜田静志 児童心理学絵画教室
多摩美術大学大学院デザイン科 修了
金属造形作家集団ジリオ
現在 孫と遊ぶ爺さん喜び
アトリエベガとして西荻善福寺地区に看板等多数



少女.悲しみ

【インスタレーション】 スティール

毎日毎日ニュースで観るウクライナでの爆撃状況 地面に突き刺さったミサイルの映像と子供が泣いている姿は これが現在現実に行き起こることなんて悲しすぎる事です。湾岸戦争の時に作った「悲しみの少女」をまた作らなくてはなりません。戦争が無くならない世界、力と力の均衡いつまでも終わらない。また起きる。一つのボタンが押されたら………。



Girl of Sadness

【Installation】 Steel

Everyday we watch the bombing of Ukraine on the news. The images of fallen missiles and children crying... It is heartbreaking that this is happening in reality today. I have to make another 'Girl of Sadness', first created during the Gulf War. A world where wars will never stop, where the conflict of power will never end. It will happen again. If one button is pressed: …….

栗田 昇
KURITA Noboru

水辺のときめき [インスタレーション] 木材
いつもと同じ善福寺池の風景の中に、落水で動く木で作った鹿威し(ししおどし)を並べる、その繰り返す動きは幾重にも重なり水辺に広がっていく。それはまるで小さなきざしを感じた時の、ときめきの様に。

The Thrill of the Water Side [Installation] Wood
Amongst the ordinary landscape of the Zenpukuji Pond, the repetitive movements of a wooden Shishiodoshi – a type of Japanese fountain, propelled by the movement of falling water, spread out their ripples to the water's edge and stirs a thrill in us as we catch their subtle signs.

- 1976 武蔵野美術短大工芸工業デザイン科卒業
- 1983 自動車会社入社、インテリアデザイン開発従事
- 1991～96 米国駐在
- 2011 退職、木材を使って造形活動を開始
- 2014～ 国分寺 お鷹の道に水車を設置(週末)
- 2016～ トロールの森 出展
- 2020～ アウトドアギャラリー@お鷹の道を企画プロデュース



丹尾 敏
nio bin

GATE [インスタレーション] 鉄
病気・紛争・災害
思いがけないことで奪われてしまった時間
門を行き来するのは自分自身のあちらとこちら
見つめあうことで もうすぐ手がつなげる気がしている

GATE [Installation] Iron
Disease, war and disaster
Time taken away by the unexpected
Coming and going between the gates, we are ourselves divide across here and there
But as we gaze across at each other, perhaps we should soon be able to hold hands

水戸市生まれ 教育学専攻修了 女子美術短期大学金属専攻 鍛冶屋修行後、2017年知多半島常滑市に移住し niobinstudioを設立 「鉄を扱うこと」について思考する日々を送る 個展・グループ展で活動しながら生活に取り入れる鍛冶屋仕事も行う



永林 香穂
NAGABAYASHI Kaho

1990年東京都生まれ。2016年東京藝術大学大学院修了。東京を拠点にして彫刻制作を行う。表現はフォーマルなものからカジュアルなものまで、主に人間をモチーフにした表現をしている。

おしりダケとおおしりダケ [彫刻] 陶器
「頭の中で生まれた枯れない植物」を作っています。今年の秋は2年前に引っこ抜いたはずの「おしりダケ」がまた生えてきました。まだマスクが取れない世界なので、おしりダケでおしり合いになれますように。

Oshiridake & Big Oshiridake [Sculpture] Ceramics
I create 'plants that never die, born from inside my head'. Two years ago the 'Oshiridake' was supposedly uprooted, but this autumn it has grown back. As we continue to live in a world where masks cannot yet be removed, then it is only through Oshiridake that we can know each other.
*The literal meaning of 'Oshiridake' is a butt-shaped mushroom.



中村 岳
Nakamura Takeshi

- 2021 千葉県立美術館／千葉 鉄と光の芸術祭／北海道 中之条ビエンナーレ群馬 木津川アート／京都
- 2019 TSUKUBA BIENNALE／茨城
- 2017 Viborg Kunsthall／デンマーク
- 2016 堺アルテポルト黄金芸術祭／大阪
- 2015 53美術館／中国



遡及空間 [インスタレーション] 木材、アクリル絵具
ぼくの作品は彫刻ではない。空中に自由に絵を描きたいと思い作品を作る。空中をキャンパスに見立てて、縦横無尽に絵を描く。絵描きは常に絵画の支持体を意識しており、枠組みで切り取って空間を認識している。立体物を実体として見ているよりも、平面として脳内変換している。



The Retroactive Space [Installation] Wood, acrylic
My work is not sculpture. I create with the intention to draw something freely in the air. The air becomes my canvas and I draw without limitations. A painter is always aware of the support of the painting and approaches the space cut out by this frame. Rather than seeing a three-dimensional object as an entity in itself, I transform it in my brain to a flat surface.

小西 一

konishi ichi

<https://k-ichi.net>

会期中に腕はへし折られて包帯で補修をしたり、犬に小便も掛けられたり、揺さぶられたり蹴られたりもしましたが、最終日にはイチョウに包まれたドングリがお供えされていました。これら全ての出来事を含めてこの作品の完成です。



デフラグメンテーション

【インスタレーション】 善福寺公園の落ち葉、白砂、他
人と人、街や自然の断片化を再認識させて解消を試みるインスタレーションです。頭も足もなく、じっと手を差しのべるしかできません。が、それができます。人と認識できる極限まで削ぎ落として表現そのものを形にしました。



Defragmentation

【Installation】 Fallen leaves in Zenpukuji Park, white sand, etc.
It is an installation that attempts to recognize and dissolve the fragmentation between people, city and nature. Without heads or feet, these forms can only hold out their hands, but at least they can do that. This is an expression which reduces to the extremes that which is recognizable as a human form.

アトリエそら+（プリュス）

Atelier SORA Plus

「本と本棚を巡る冒険」のためのチーム。2017年から活動。子ども達との本棚制作のワークショップや、海外の「Free Little Library」に想を得た、本を楽しむための活動をしている。



本と本棚を巡る冒険 第6巻

【展示・パフォーマンス】 木箱

本を「読む本」として見る視線から「出会うもの」として考えると、手に取りたいと思う気持ちや傍に置きたい思いなどアートとしての本のもう一つの顔が見えてくる。本は子ども達のワークショップで制作したりんご箱の本棚に並べられ、野外のいつもと違う場所で出会う。声に出して読んでみるといつもと違う感覚とも出会う。さあ冒険に乗り出そう。



Adventure through books and bookshelves Volume 6

【Exhibition and performance】 Wood box

If you look at a book not as 'a book to be read', but as 'something to be encountered', you can see another face of the book as art, such as the desire to pick it up and keep it by your side. At the art exhibition, the books are arranged on apple-box bookshelves made in children's workshops and meet you in an unusual outdoor location. You can hear the sound of books along with the sounds of nature.



桃井第四小学校6年生

MOMOSHI 6th grade students



ももしトロールボート

【ペインティング】 ボート、ペンキ
桃井第四小学校創立90周年を記念して、善福寺公園のボートをペイントしました。土・日・祝日は乗船できます。ぜひ、水上からの「トロールの森2022」をお楽しみください。



MOMOSHI's Troll Boat

【Painting】 Boats, paint
To commemorate the 90th anniversary of the founding of the school, sixth graders from Momoi Daishi Elementary School painted boats on Upper Pond in Zenpukuji Park. On the weekends & holidays visitors can ride on the boat and view the works from the water. On weekdays the boat could be appreciated for its accent to the landscape.

荒木 ひとみ

Araki Hitomi

りゅうりえんれんの物語

【朗読】

詩人 茨木 のり子の叙事詩。中国から北海道へ連れてこられ、生き延びた人の話
伝えたい言葉があります。誰かが言葉として紡いだものを、文字として書かれた
言葉を声に出して読んでみたい。誰かに伝えたい物語があります。

Story of Liu Lianren

【Reading】

An epic poem by poet Noriko Ibaraki. The survival story of a Chinese war
slave forcibly brought to Hokkaido. There are words I want to tell you. I
want to read out loud these written words, spun by someone else. I want to
tell this story to someone.

劇団シェイクスピアシアターの養成所にて演劇を学び、劇団員を経て、フリーに。その後、椿組のプロデュース公演で野外劇と出会う。ワークショップなどを受けながら、さまざまな公演に参加。風詠みの会として、石牟礼道子さんの本をテキストとし朗読と2人芝居にした「海と空のあいだに」を杉並演劇祭において上演。



Ooze(ウーズ)

2022年、muttan(ダンス)、川井小枝子(ダンス・イラスト)、しずか(写真)で創作集団「Ooze」を発足。写真と身体で出来るパフォーマンスの可能性を探る。今回はmuttan、川井の2人によるパフォーマンス。

繻く[ひもとく]

張り巡らされた糸の中 自分が作り上げた見えない檻。詰まった心や状態に 変化をもたらす 糸口はどこにあるのだろう。小さなサインに目を向け 手を伸ばし 紐解いていく。自由な景色を求めて 今日も躍る



Discover[himotoku]

Inside the outstretched threads An invisible cage of my own making. Where are the clues that will bring change to our clogged minds and states of being? We look for the slightest signs, reach out and untangle them. Reaching out and unraveling. Seeking a free view Dancing today



ぜんぶくトリヲ+ かぼーれかぼーれよいとな Zenpuku Trio + Kappore,Kappore,Yoitona

ぜんぶくトリヲ バントマイミストの鈴木秀城と橋本フサヨのマイムユニット。かぼーれかぼーれよいとなは、橋本フサヨ率いる善福寺のかっぱれグループ。

橋本 フサヨ バントマイムを清水きよしに師事。桃川流江戸かっぱれを家元桃川亜紅に師事。自作自演のオリジナルティーあふれる作品で活動中。

鈴木 秀城 東京マイム研究所にて並木孝雄に師事。橋本フサヨ氏と「ぜんぶくトリヲ」を組み、トロールの森に参加すること多数。『いのちのオンパレード』、『タロウ』を発表。



あー吾輩は猫じゃ

何点かの美術作品とコラボして作品ごとに猫のショートストーリーをオムニバス形式で表現。演者、観客とも作品を巡り公園内を移動します。予定演目「猫の決闘」「猫の恋」「捨て子」「化け猫」など。



I am a cat

In collaboration with several of the exhibited works of art, an omnibus of short cat stories will be performed by each piece. Both performers and audience members will amble around the park to each performance spot. Scheduled performances include "Cat Duel", "Cat Love", "Abandoned Child", and "Ghost Cat".

初期型

Primal Type

2000年結成。ダンスと演劇をします。モットーは「愛すべきバカ」。ポップな前衛を心がけております。
[代 表] カワムラアツノリ
[副代表] タカダユウナ
[メンバー] 喜多真奈美、小山綾子、平澤瑠、深堀絵梨、松崎淳、もっしゅ、今村つくみ



BULB

ひと皮むけて、ふた皮むけて、むいてむいてむいて、最後は何も無くなってしまうのかもしれない。



BULB

Peel one layer, peel a second layer, peel, peel, peel, and in the end there may be nothing left.

第二次 谷杉(ミミトメ)

Dainiji Tanisugi (Ears+Eyes)

100人の見えない演技者

なんでもない日の屋下がり、見えない演技者が見えないパフォーマンスをします。鑑賞者にははっきりと見る事ができません。しかし物事はひっそりと進行しており、そこから染み出た「きざし」を感じることはできるはずです。

100 Invisible Actors

Invisible performers give an invisible performance in the early afternoon on an ordinary day. The audience cannot see them clearly. But things are quietly going on, and we can feel the subtle "signs" which they exude.

2008～11年
「マゴビキ、あるいは他人の靴の履き方」
他 演劇公演
2019～21年
トロールの森「声の小さな舞台俳優」
「身振り採集」「あの時の鳥家族」「息するように365のセリフ」
2021年
中之条ピエンナーレ「一人称劇場」

